

# 評価規準例一覧

## 1-1 動植物の分類 単元の指導展開と評価規準例

配当時間：12+8時間

- ※各時間区切りの「重点」には、単元を通して3観点をバランスよく評価することを考慮して項目を選んだ一例を示します。
- ※「記録」には、その時間区切りで記録をとる場合に○を示します。
- ※「態度」については、すべての時間で記録をとらずに見とり、単元のおわりに記録をとる想定です。
- ※単元の全体的な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」の評価については、定期テストなどで見とる想定です。

章	時間	教科書ページ	指導の展開	重点	記録	評価Bの例 （「おおむね満足できる」規準）	評価Aの例 （「十分満足できる」規準）	評価Cの場合の支援 （「努力を要する」状況での手立て）
身近な生物の観察 第1章	1	10-11	レポートの書き方、スケッチの仕方、観察のポイント、安全指導、ルーペや双眼実体顕微鏡の使い方などの所作を学ぶ。それらの知識・技能を用いて校庭や学校周辺の生物の観察を行い、レポートを作成する。	知	○	<b>知識・技能</b> レポートの書き方、スケッチの仕方、ルーペや双眼実体顕微鏡の使い方などの観察における技能を身に付けている。野外観察に際して安全面に配慮している。 【記述分析】	観察対象を多面的な視点で記録している。	理解の不十分な箇所を指摘し、まとめ直すようにながす。
	2	16-19	教科書に掲載してある生物を対象にするなどし、自分たちで基準を作ってなにか分けする。その結果を紹介し合う。この探究の際に「観点」と「基準」の考え方を意識づけしておく。	思	○	<b>思考・判断・表現</b> 生物の共通点や相違点を自分なりに見だし、分類するための観点や基準を表現している。 【記述分析】	大グループの下に小グループを作るなど、細分して分類している。	観点と基準の意味を指摘し、例を考えるようにながす。
植物の分類 第2章	3	22	小学校であつかった植物を思い出し、部分の名称を復習する。	知	○	<b>知識・技能</b> さまざまな植物のからだを見て、部分を指摘している。 【記述分析】	根、茎、葉について共通点・相違点を明確にして分類している。	小学校であつかった植物をもとに、根、茎、葉を思い起こさせる。
	4	23-26	アブラナやツツジの花を観察する。めしべのふくらみやその変化を観察する。	思	-	<b>思考・判断・表現</b> 花を分類するための観点や基準を見だして表現しているなど、科学的に探究している。	花について共通点・相違点を明確にして分類している。	花を観察する視点をあたえる。
	5	27-28	多くの花のつくりから、花にはめしべ、おしべ、花弁、がくがあることを知る。胚珠が子房の中にある植物や胚珠がむきだしの植物があることを知る。	知	○	<b>知識・技能</b> 種子植物の花の共通点・相違点についての基本的な概念を理解している。 【記述分析】	花の共通点・相違点と、なにかま分けの観点・基準を関連付けている。	理解の不十分な箇所を指摘し、まとめ直すようにながす。
	6	29-30	資料などをもとに、シダ植物、コケ植物について知る。	思	○	<b>思考・判断・表現</b> 種子植物と比較してシダ植物とコケ植物の共通点・相違点を見いだすとともに、植物を分類するための観点や基準を表現している。 【記述分析】	植物の共通点・相違点となにかま分けの観点・基準を関連付けている。	観点と基準の意味を指摘し、植物の特徴を整理するようにながす。
	7	31-32	被子植物は、さらにどのように分類できるか。	思	-	<b>思考・判断・表現</b> 被子植物の花以外の共通点・相違点を見だし、被子植物を分類するための観点や基準を表現している。	被子植物の2つのグループの共通点・相違点となにかま分けの観点・基準を関連付けている。	観点と基準の意味を指摘し、被子植物の特徴を整理するようにながす。
	8	33	資料などをもとに、植物はどのように分類できるか考える。観点（yes, noを判断するための項目）の考え方に気をつける。	思	○	<b>思考・判断・表現</b> 種子植物と比較してシダ植物とコケ植物の共通点・相違点を見いだすとともに、植物を分類するための観点や基準を表現している。 【記述分析】	植物の共通点・相違点となにかま分けの観点・基準を関連付けている。	観点と基準の意味を指摘し、植物の特徴を整理するようにながす。
動物の分類 第3章	9	36-37	脊椎動物と無脊椎動物、胎生と卵生など観点と基準を用いることで動物も分類できることを知る。	知	-	<b>知識・技能</b> 動物のからだの共通点・相違点として、背骨の有無、子のうまれ方などがあり、これらを観点にして分類できることを理解している。	動物の共通点・相違点となにかま分けの観点・基準を関連付けている。	理解の不十分な箇所を指摘し、まとめ直すようにながす。
	10	38-39	脊椎動物の資料をもとに分類する。	知	○	<b>知識・技能</b> 脊椎動物のからだの共通点・相違点を観点にして、5種類に分類している。 【記述分析】	脊椎動物の共通点・相違点となにかま分けの観点・基準を関連付けている。	理解の不十分な箇所を指摘し、まとめ直すようにながす。
	11	40-41	無脊椎動物を分類し、からだに節のある動物を分類する。	思	-	<b>思考・判断・表現</b> 資料を通して節足動物の共通点・相違点を見いだすとともに、無脊椎動物を分類するための観点や基準を見だしている。	無脊椎動物の共通点・相違点となにかま分けの観点・基準を関連付けている。	観点と基準の意味を指摘し、無脊椎動物の特徴を整理するようにながす。
	12	42	動物分類フローチャートを作り、その動物分類フローチャートを使って、未知の動物を分類する。	思	○	<b>思考・判断・表現</b> 習得した知識を活用して、未知の動物を分類するための観点や基準を見だしている。 【記述分析】	動物の共通点・相違点となにかま分けの観点・基準を関連付けている。	観点と基準の意味を指摘し、それぞれの動物の特徴を整理するようにながす。